

クラブだより

折り紙で地域の輪を

灘区

都クラブ

濱田 亀志政

現在、八幡クラブ折り紙教室、都クラブ折り紙部を指導しています。その活動が、灘区の区民広報紙12月号「なだびと」に掲載されましたので、紹介させていただきます。

◆どのような想いで活動されているのですか？

一人で家に籠ってしまっている高齢者の方々が少しでも外に出る機会になればと、折り紙教室を続けています。折り紙が完成したら作品を

見せあって「上手にできているね」と褒めあうなど、「コミュニケーションを積極的にとることで地域の仲も深まり、お互いの自信にも繋がります。そして、皆さんが喜ぶ顔を見ると私の達成感にも繋がっています。」

◆活動を続けて良かったと思うエピソードを聞かせてください

「自分で作った折り紙を玄関に飾るようになったよ」と話を聞くと、嬉しいですね。自身で折り紙の研究を始める意欲的な方もいて、面白いです。各地区地域福祉センター等の文化祭や灘区老連シルバーアート展へ



の出席も楽しみみのひとつとして作品づくりに励む方が増えています。

◆活動に興味がある人へメッセージをお願いします

折り紙教室に初めて参加される方は

「私には難しい」と後ろ向きになってしまいう方が多いのですが、一度にすべて覚えられなくても、毎日



少しずつ続けることが大切です。灘区老人クラブ連合会は創立六十周年を迎えました。老人クラブの活動は折り紙だけでなく、各地区によって様々ですので、興味があればお気軽にご相談ください。

掲載後、たくさんのお問い合わせを頂きました。本年も地域の方のお役に立てるように、活動して参ります。

解散の危機を乗り越えて30周年を祝いました

北区

藤原カリヨン会

山田 隆己

藤原カリヨン会は六甲北ニュータウンとして誕生した藤原台の北町、中



クラブの皆さんで会食

町、南町を中心に平成2年に発足しましたので、今年で創立34年になります。しかし、昨年3月、令和3年から会長を務められた佐々木氏が体調不良のため会長交代を希望されましたが不調に終わり、藤原カリヨン会解散が決議されました。

もつたいない。私が副会長をやるから、山田さん(非会員)、会長になってくれ」と言い出し「それなら私も副会長としてサポートします」と会長経験者の大林直氏、さらに、小島通子氏が会計を引き受けますということになり、解散を回避できました。これはカリヨン会の活動とは別のラジオ体操仲間の間での話し合いの結果でした。入会、即會長という重要任務を担う



30周年記念敬老祝賀会

ことでしたが、皆さんの協力のもと会運営を続けることができている。

令和2年には創立30周年を迎えましたが、コロナ禍のため大人数で集まる記念祝賀会ができませんでした。昨年5月にコロナ感染症の扱いが緩和されたので、9月に3年遅れでようやく「創立30周年記念敬老祝賀会」を95歳の松本芳美元会長をはじめ多数の会員さんの出席により六甲保養荘で開催することができました。ミニ会席コースを頂きながら和やかに会話が



グラウンドゴルフ大会

弾み、久しぶりに大勢が出席して、フェイス・トゥ・フェイスで楽しい時を過ごしました。ビンゴゲームや希望者によるカラオケなどが賑やかに行われ「解散せずにかかった」と実感しています。

現在、会員数は70名で、8つの同好会があります。例えば、グラウンドゴルフ同好会は10月に行われた有野町民親睦大会に最高齢90歳、平均年齢82歳のチームで出場しました。本会の今年目標として、さらなる会員増強と同好会活動の活性化を目指します。

和をもって、元気に、明るく、楽しく

須磨区

菅の台ひいらぎ会

青木 繁次



菅の台ひいらぎ会 誕生日会

「菅の台ひいらぎ会」は、今年45周年を迎えました。「和をもって、元気に、明るく、楽しく」を合言葉に現在127名の方々がそれぞれの目的をもって集い、活動しています。

趣味を生かした、カラオケ・囲碁・麻雀・民謡・民踊・パソコン、そして身体を動かすグラウンドゴルフ・輪投げ・卓球・健康体操など、菅の台地域福祉センターや隣接

する公園周辺では、明るい声が満ちています。また、誕生会や親睦バス旅行・三社参りなど以前からの行事も大切に引き続き実施しています。

さらに、地域諸団体と協働し、公園の美化活動や子どもたちの見守り活動なども行い、世代を超えた方々との交流を図りながら会員相互の親睦を深めています。

